

特定非営利活動法人^{かみどの}上殿未来会議 指定番号第2号
河川協力団体活動状況(太田川河川事務所)

雑草刈り及び清掃(河川区域内)

上殿桜公園周辺



【7月5日】・【10月7日】

上殿交流広場周辺



【5月27日】・【6月30日】
【8月11日】・【10月7日】

クリーン太田川参加



【7月20日】

河川管理者
との意見交換

H25年度指定団体(太田川では2団体)と河川管理者の意見交換会では、当該団体で計画中的「太田川元気プロジェクト」について説明され河川協力団体(上流域拠点・下流域拠点)同士での連携をお互いに確認した。



【12月18日】

河川管理
への協力

上殿地区環境整備箇所(通称:桜公園)の除草・清掃活動を行っていただいている。また、事務所が実施する「安全利用点検」や施設利用促進検討に協力いただいております。桜公園が安全・快適に利用できるよう維持されているのは当該団体の活動によるものと言える。



【1月21日】

桜公園活用促進の現地協議

特定非営利法人未来守りネットワーク 指定番号第3号 (河川協力団体活動状況 出雲河川事務所)

NPO法人未来守ネットワークは、水質浄化に向けたアマモ・コアマモの調査研究や中海の水を大切にすることの重要性子供たちに学んでもらうため環境学習会を開いています。

アマモ・コアマモ再生活動

同団体は、2005年から水中の汚れを吸収して小さな生物のすみかとなるアマモ場の再生に取り組んでいます。勉強会やイベントを開催し、地域の住民と一緒に活動しています。



アマモ・コアマモ勉強会

アマモ・コアマモの生育状況や水質浄化への取り組み等について、報告しました。(境港市 6月21日)



アマモ・コアマモ採取イベント(6月21日)

アマモ・コアマモ移植イベント(11月14日)

初夏にアマモ・コアマモの種子採取イベントを実施するとともに秋には、アマモの種子をシートに植え付け、外江港(境港市)に設置しました。

寄り藻の回収及び肥料への利活用



漁協者と共同による寄り藻の採取(6月21日)

田植え 5月10日、稲刈り 9月21日(日野町)

中海北部海域で漁業者と共同による寄り藻の採取を行うとともに、海藻肥料の利活用と普及に向け、海藻肥料を使用しているたんぼにおいて、境港市の子供たちが田植えや稲刈りを体験するイベントを行いました。

河川管理への協力

アマモ・コアマモは、窒素・リンを吸収し富栄養化を食い止める働きがあります。中海では、同藻が生育している浅場が少なくなっており、同団体が、アマモ場の再生に向け活動されることより、中海の水質浄化・改善に役立っています。

中海の寄り藻を回収することより、富栄養化につながる窒素・リンの除去に役立っています。

同法人の寄藻回収量(4月～12月末時点206トン) 窒素・リン換算除去量は以下のとおり
 ・窒素は、**370.8kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.44日分**です。
 ・リンは、**38.5kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.577日分**です。

特定非営利法人自然再生センター 指定番号第4号 (河川協力団体活動状況 出雲河川事務所)

認定NPO法人自然再生センターは、宍道湖から中海にかけて、自然の歴史や生態の調査・研究を行うとともに、親水の間を活用して地域住民や地元の児童と藻刈り等を実施するなど、環境教育の普及活動を行っています。

We♡中海(中海でオゴノリ採り&サツマイモ掘り)



中海でオゴノリを刈り取り、肥料としてサツマイモを栽培することにも取り組んでいます。中海の水質浄化だけでなく、海藻資源の利活用に向けて活動されています。

平成26年10月23日 八束町江島港で八束町内の児童等40名が参加して中海の海藻・オゴノリ採りを実施しました。



オゴノリ採り終了後は、海藻を肥料としサツマイモを作っている畑に移動し、サツマイモ掘りを体験しました。

河川管理への協力

中海の海藻・オゴノリを回収することにより、富栄養化につながる窒素・リンの除去に役立っています。夏場に過剰繁殖したオゴノリは、水中で腐敗すると硫化水素を発生させ水質悪化の原因となるため、腐敗前に刈り取っています。

同法人のオゴノリ回収量(4月～12月末時点89.8トン) ※窒素・リン換算除去量は以下のとおり
・窒素は、**161kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.19日**分です。
・リンは、**16.8kg**が除去されています。中海の日当たり生活系流入量の**0.25日**分です。

瀬戸アユモドキを守る会 (河川協力団体活動報告

指定番号第5号
岡山河川事務所)

アユモドキ生息状況調査

7月18日 参加者19名



瀬戸アユモドキを守る会は整備した産卵場でアユモドキの生息状況調査を実施し、7匹の稚魚を確認した。

アユモドキ以外にも約20種の魚類を確認し、多様な生息環境が形成されている。

捕獲した魚類群

アユモドキ水辺教室

10月10日 参加者25名



岡山市教育委員会、瀬戸公民館との共催により、毎年恒例のアユモドキ水辺教室を実施。参加した16名の親子とともに瓜生川の魚をたも網で採捕した。約20種の魚類を確認したが、アユモドキは確認できなかった。



瀬戸アユモドキを守る会メンバー(岡山淡水魚研究会所属)による魚類の説明状況

河川清掃、ゴミ拾い

5月23日：参加者96名

9月27日：参加者49名



吉井川河川敷及び周辺箇所の清掃、ゴミ拾いを実施

平成27年度 活動内容		
実施日	活動項目	参加人数
5月23日	アユモドキ産卵場の整備	180
〃	吉井川河川敷のゴミ拾い	96
6月 6日	アユモドキ湖上・産卵調査	17
7月11日	アユモドキ稚魚観察会	17
7月18日	アユモドキ生息状況調査	19
8月 1日	バス釣り駆除大会in吉井川	27
9月27日	吉井川河川敷のゴミ拾い	49
9月29日	瀬戸アユモドキの里植物調査	1
10月 7日	瀬戸アユモドキの里生き物調査	4
10月10日	アユモドキ水辺教室	25
11月7～8日	活動状況写真展	1,500
5月～12月	産卵場の除草、清掃(全16回)	延べ 285
5月～10月	外来魚駆除及びバトロール(全59回)	延べ 100
1月11日	アユモドキ風づくりand風あげ大会	30

河川管理への貢献

瀬戸アユモドキを守る会は国が整備したアユモドキ産卵場の除草や外来魚駆除など維持管理に努めるとともに、生息調査の実施や子どもたちへの勉強会を行うなど、アユモドキを基軸とした各種取り組みにより吉井川の自然環境への関心を深めることに大いに貢献している。また、河川敷の清掃、ゴミ拾い等、河川管理活動にも積極的に取り組んでいる。

伊尾小谷地区コミュニティづくり推進協議会 指定番号第6号 (河川協力団体活動報告 八田原ダム管理所)

伊尾小谷地区コミュニティづくり推進協議会は、当該地区の住民が主体となり、地域の産業振興、環境保全、体育振興、福祉活動など幅広い分野で活動を行っています。八田原ダム周辺においては平成10年よりギフチョウ(貴重種)の観察会、生息環境の保全等、地域が一体となり保護活動を実施しています。

ギフチョウ観察会



カメラを片手に熱心に観察されました。



H27年は初めて交尾の状況も確認できました。

平成27年4月11日に観察会(約50名参加)を実施しました。本年度は過去最高数のギフチョウが確認出来ました。

ギフチョウ保全区保護(草刈り)



産卵の支障となる雑草を刈りました。



世羅東小学校の協力もありました。

平成27年7月26日にギフチョウ保護区の草刈り(約50名参加)を実施しました。



産卵の様子(ミヤコアオイに産卵)

河川管理への協力

観察会には遠くは九州からの参加もありました。保全区保護では、大人から子どもまで数多くの方が協力してギフチョウの保全活動を実施しています。

保全活動を通じて河川愛護活動のPR、河川環境保全への意識向上など、地域が一体となった取り組みを継続的に展開していくことで、河川全体の積極的な保全活動になるものと考えています。

佐波川に学ぶ会 指定番号第8号 (河川協力団体活動報告 山口河川国道事務所)

【活動概要】 佐波川に学ぶ会は、佐波川に関する学習を計画的・継続的・体験的に行い、河川への理解・認識を深めるために様々なイベントを行っています。平成27年度は初めての試みとして、河川管理者が行う『水辺安全教室』『水生生物調査』を佐波川に学ぶ会の河川愛護イベント『佐波川で遊ぶカレー大作戦』と共同開催しました。その他にも川に親しみ、川の大切さを学ぶ川の勉強会(園児・小学生)や、河川敷の除草やゴミ拾いを行うなど幅広く活動しています。

主な活動内容



平成27年8月1日 防府市で河川愛護イベントを実施しました。参加者134人



平成27年4月15日 安全利用点検



除草などの河川美化活動



河川勉強会を実施

河川管理への協力

- ・地域住民の河川に対する関心を高めるとともに、よりよい河川環境づくりを目的とした河川勉強会を開催し、知識の普及・啓発に役立っています。
- ・安全利用点検や除草を行い、河川維持及び河川環境美化に貢献しています。

ウエスコ・エコクラブ 指定番号第9号 (河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】 ウエスコ・エコクラブは、宍道湖夕日スポット周辺の漂流ゴミの回収・清掃を行っています。

主な活動内容



平成27年4月30日 出雲市で斐伊川一斉清掃に参加しました。参加者6人



河川管理への協力

宍道湖夕日スポット護岸に打ち上げられた漂流ゴミを回収することにより宍道湖を訪れた方がまた来たくなるような景観の維持に少しでもお役に立てればと考えております。

平成27年4月28日 松江市で、出雲河川事務所が行う河川安全点検に参加しました。問題を指摘した早急な対応が箇所は出雲河川事務所によりすみやかに措置されました。

夕日スポット・クリーンサポーター 指定番号第10号 (河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】 夕日スポット・クリーンサポーターは、宍道湖夕日スポット周辺の漂流ゴミの回収・清掃を行っています。

主な活動内容



平成27年4月28日 松江市で、出雲河川事務所が行う河川安全点検に参加しました。問題を指摘した早急な対応が箇所は出雲河川事務所によりすみやかに措置されました。



平成27年8月28日 夕日スポットでウエスコ・エコクラブと合同清掃活動を行いました。参加者5人

河川管理への協力

宍道湖夕日スポット護岸に打ち上げられた漂流ゴミを回収することにより宍道湖を訪れた方がまた来たくくなるような景観の維持に少しでもお役に立てればと考えております。

公益財団法人ホシザキグリーン財団 指定番号第11号 (河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】自然観察会などを開催し、宍道湖に生息する生きものやその生息環境に興味関心を持ってもらうことで身近な自然環境の大切さを啓発しています。

《主な活動内容》



実施団体：
2015年5月8日 29名 (広島アニマルケア専門学校)
2015年5月14日 26名 (広島アニマルケア専門学校)
2015年5月21日 31名 (広島アニマルケア専門学校)
2015年5月29日 134名 (松江市立内中原小学校)
2015年8月3日 55名 (武庫川女子大学附属中学校)
2015年9月30日 64名 (出雲市立中部小学校)

参加合計人数 339名



実施団体：
2015年5月8日 60名 (荘原小学校)

参加合計人数 60名



実施団体：
2015年5月8日 24名 (一般募集で集まった方)

参加合計人数 24名

河川管理への協力

宍道湖に生息する生きものやその生息環境について自然観察会を通じて多くの方に伝え、その大切さを感じてもらっています。この活動を続けることで、「宍道湖」という大切な湿地をこれから先の未来に残し続けていくことに繋がると考えています。



公益財団法人ホシザキグリーン財団

特定非営利活動法人水の都プロジェクト協議会 指定番号第12号

(河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】嫁ヶ島の草刈りや宍道湖畔の州浜づくりなどの地域資源を守る保全活動を行っています

活動内容

■嫁ヶ島保全管理

実施日(平成27年)

4月26日(日)・6月7日(日)・7月26日(日)・9月27日(日)



草刈り作業



刈った草を袋に入れ船で運ぶ



土のうを敷く作業

- 平成20年から実施して参加者約120人(年間)
- 草刈りと、洗掘された部分に土のうを敷き表層を保護



実施前



実施後

■宍道湖湖畔(山居川沿い)州浜づくり

実施日(平成27年)

10月4日(日)・10月18日(水環境学習)・11月8日(日)・12月6日(日)



ヨシ刈り作業



ゴミ拾い

- 平成27年10月4日から実施
- 参加者約90人(年間)
- ゴミ拾い、ヨシ(水辺に生えてる植物)刈り



実施前



実施後



水質環境学習

河川管理への協力

- 宍道湖畔に州浜をつくり、嫁ヶ島とともにゴミ拾いなど管理することで州浜の生態系を保護、親水や水質環境学習の場として利用

特定非営利活動法人 中海再生プロジェクト 指定番号第13号 (河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】 中海再生プロジェクトは、中海の利活用を通じて地域の活性化を目標に、地域の団体が希望する湖岸を清掃する中海アダプトプログラムや、中海を船で親しみ、中海の浄化活動を行う団体の発表を聞く中海体験クルージング・環境フェアなど中海の関心を高める普及活動を行っています。

主な活動内容



中海アダプトプログラム 平成27年の実績は、年間のべ63団体 およそ1300名参加



平成27年
中海夕暮れコンサート
米子市湊山公園湖岸を中心に
年8回実施



平成27年8月22日 中海体験クルージング
中海環境フェア 実施

河川管理への協力

中海アダプトプログラムの実行委員会として、行政と登録団体とのつなぎ役として、円滑な河川清掃活動に努めている。また、中海夕暮れコンサートを行い、住民が河川を身近に感じる場を提供している。さらに、毎年、中海環境フェアを開催し、住民の中海の環境改善への関心に高めることに貢献している。

特定非営利活動法人しまね体験活動支援センター 指定番号第14号 (河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】 NPO法人しまね体験活動支援センターは、島根県中山間地域研究センター等と協力し、「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」を平成19年から毎年行っています。このマップは流域の小・中学校がそれぞれの地域の水質などを調査し、データを島根県のホームページに登録し、成果発表会や学習発表会で発表するもので、子ども達にふるさとを愛する心を育てるとともに、河川環境保全の意識を高めています。

主な活動内容



平成27年春から秋にかけて各河川で環境調査を実施。参加児童生徒数約360人



平成27年6月2日 出雲市乙立町立久恵峡の神戸川河川敷で教員等を対象とした指導者研修会を実施。



平成27年11月23日 出雲科学館で第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会を実施。代表の3小学校が発表。

調査結果はインターネットを通じて島根県中山間地域研究センターへ送られ、河川環境マップを作製し島根県のHPのWeb-JIS地図に掲載されて一般の人にも公開。

河川管理への協力

子ども達が河川調査を実施して、今の川の状況や川への思いを学習発表会等で情報発信する他、河川環境マップを地域へ配布して河川環境保全の大切さをアピールし流域全体で河川への関心を高めている。その結果、河川の水質維持に繋がっている。

特定非営利活動法人 自然と人間環境研究機構 指定番号第15号 (河川協力団体活動報告 出雲河川事務所)

【活動概要】 特定非営利活動法人自然と人間環境研究機構は、中海沿岸の幼稚園や保育所の園児たちと、ゴズ釣りと調理体験による水辺に親しむ環境学習活動を行っています。また、近年、漁獲量が減少している宍道湖七珍の一つ、ウナギについて、聞き取りによる生態調査なども進めています。

主な活動内容



平成27年10月5日、14日 松江市で幼稚園の園児ほかの皆様とゴズ釣りと調理合同の体験学習を実施しました。



平成27年4月28日、松江市で、出雲河川事務所が行う宍道湖の河川安全利用点検に参加しました。



平成27年9月より 宍道湖・中海沿岸の漁業者などからウナギの生態聞き取り調査を実施中です。

河川管理への協力

宍道湖や中海に生息する生き物について、松江市内の幼稚園の園児たちと、中海に生息する魚をとおして環境学習を行い、子ども達に中海理解と愛着を深める活動を行った。

土師ダム桜守プロジェクト 指定番号第16号

河川協力団体の活動状況(江の川 土師ダム管理所)

【活動概要】 土師ダムの桜を後世に継承し、さらには桜の名所100選(日本さくらの会) に選定されることを目指し、桜を愛し楽しむ人を「桜守」として登録し、交流協働の中で、桜の維持・保育を行っていきとともに、桜に関する様々な情報を発信していくことを目的として活動を行っている。

主な活動内容

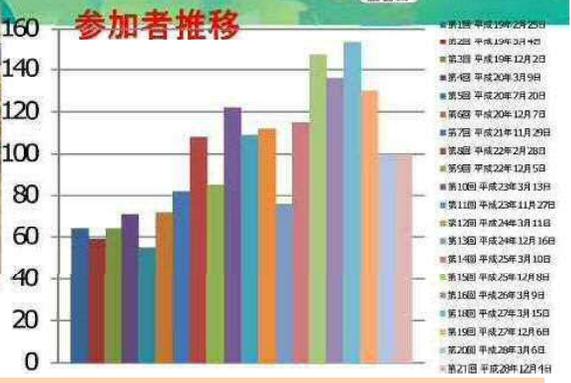
桜守プロジェクト



H28.12.4実施 約100名参加



河川管理への協力



土師ダム(八千代湖)周辺にある桜の維持・保育及び周辺の伐採、除草、清掃等の作業を河川管理者と連携して行う。

境港清港会(指定番号第18号) 河川協力団体の活動状況(出雲河川事務所)

【活動概要】

境港清港会は、境水道を主な活動範囲とし、清掃船による定期的な水面浮遊物、漂着物の回収及び処分を行うほか、広報車での環境美化を呼びかけといった巡回啓発を実施しています。

主な活動内容

- 清掃船による水面浮遊物や漂着物の回収・処分
H29.3月の指定以降、H29.12月時点で計61回実施し、約100㎡の塵芥を回収



- 広報車による環境美化を呼びかける巡回啓発活動(7~10月)

河川管理への協力

境水道は河川区域、港湾区域及び漁港区域が入り交じって指定されている区域であり、漁船、運搬船、貨客船など様々な船舶が通行する大変重要な水域となっています。河川環境の維持や船舶の安全な航行のため、境水道を漂着物のない清潔な環境に保つことで河川の清潔保持に寄与しています。

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク 指定番号第19号 河川協力団体活動状況(日野川水系 日野川河川事務所)

特定非営利活動法人未来守りネットワークは、鳥取県・島根県に跨がる中海圏域の住民に対して、環境浄化活動、まちづくり事業及び芸術文化、スポーツを愛する青少年育成に関する事業を行い、住民主体の地域社会の活性化と発展に寄与することを目的としている団体です。

主な活動として、日野川流域で絶滅危惧種(ミナミアカヒレタビラ)の調査、海藻肥料による地域再生や河川の水質浄化に関する講演会等を行っています。

主な活動内容



絶滅危惧種調査状況



絶滅危惧種(ミナミアカヒレタビラ)



「海藻肥料の現状と地域再生」に関する講演



海藻肥料を利用した田植えイベント

特定非営利活動法人さくらおろち 指定番号第20号 河川協力団体活動状況(斐伊川水系 出雲河川事務所)

特定非営利活動法人さくらおろちは、尾原ダム周辺地域並びに斐伊川流域住民に対して、様々な事業を実施し、上下流域の相互交流を図るとともに、積極的に地域の情報を発信し、地域の活性化と自然環境の保全に寄与することを目的としている団体です。

主な活動として、地元企業等と連携し、さくらおろち湖(尾原ダム貯水池)の環境美化活動や小学生と共同で水質調査等を行っています。

主な活動内容



さくらおろち湖周辺の除草



宍道湖周辺のヨシ刈り



尾原ダム放流イベントへの協力



小学生と共同で水質調査



「そば打ち交流会」の開催

つかだに ば ば
塚谷・馬場の明日を考える会 指定番号第21号
河川協力団体活動状況(吉井川水系 苦田ダム管理所)

塚谷・馬場の明日を考える会は、苦田ダムの下流に位置する塚谷・馬場の発展と快適な生活環境をつくることを目的としている団体です。

主な活動として、国道 179号、塚谷公園、苦田鞍部ダム周辺の清掃等の環境美化活動を行うとともに、「芋煮会」や「初日の出を迎える会」などの地域交流活動等を行っています。

活動場所・主な活動内容



「芋煮会」の開催



苦田鞍部ダム周辺の清掃



「初日の出を迎える会」の開催

みまさかのくに いろど
美作国「彩りの森づくり」実行委員会 指定番号第22号
河川協力団体活動状況(吉井川水系 苫田ダム管理所)

美作国「彩りの森づくり」実行委員会は、美作国建国から先人達が残してくれた環境を次の1300年に伝承し、人と自然が織り成す「彩りの森づくり」を行うことを目的とすると共に、地域住民や来訪者の憩いの場としての環境整備を目的としている団体です。

主な活動として、奥津湖(苫田ダム貯水池)に浮かぶ城峪城址である浮島で、四季の彩りが楽しめる「さくら、もみじ、つつじ」の植樹、除草や清掃などの環境美化活動を行うとともに、民間企業と協力した「水源の森づくり」を行っています。

活動場所・主な活動内容



旭川みの広場を愛する会 指定番号第23号 河川協力団体活動状況(旭川水系 岡山河川事務所)

旭川みの広場を愛する会は、旭川河川敷の環境保全と、維持管理に努めるとともに、地域住民の交流・親睦、さらには健全な身体維持・健康増進を図る等、有効活用することを目的としている団体です。
主な活動として、河川空間を有効活用できるよう、河川敷の除草・清掃を実施するとともに、「こいのぼりを楽しむ会」「クリスマスキャンドルのタベ」などの地域交流イベント等を開催しています。

活動場所・主な活動内容



「こいのぼりを楽しむ会」の開催



河川敷の除草・清掃



「クリスマスキャンドルのタベ」の開催

高橋建設株式会社 指定番号24号

河川協力団体活動報告(高津川 浜田河川国道事務所)

高橋建設株は、島根県西部を流れる高津川において、企業の地域貢献活動として、同社員が河川敷地の漂流ゴミ等の回収及び清掃を実施しており、当事務所が募集したボランティア制度(水辺ENプログラム)にも参加し活動しています。

主な活動内容



堤防・河川敷清掃活動



主な活動場所



高津川 右岸 L=800m:
高角橋から飯田橋付近
高津川 左岸 L=1300m:
飯田橋から上流
合計L=2100mの範囲内で活動を実施



水辺EN組プログラム



水辺ENプログラムは、河川の一定区間について、住民団体、河川愛護団体、企業等の自発的な河川ボランティアを募集し、水辺(河川敷)と縁組するもので、行政と住民がパートナーとなって、美しい河川環境をつくり出そうとする制度です。高橋建設株は、この制度に平成22年から参加しています。

Pegasus クラブ 指定番号25号

河川協力団体活動報告(高津川 浜田河川国道事務所)

Pegasus クラブは、スポーツ・文化等の活動を生涯を通じて楽しみ、多くの人々が交流することにより、明るい社会づくりに貢献することを目的として設立された総合型スポーツクラブです。高津川で「カヤック」などの河川敷を利用しており、地元自治会と連携し、除草や清掃を実施するとともに、カヤックを体験する参加者に河川の安全利用講習を行っています。

主な活動内容

親水護岸付近の除草・清掃



カヤック体験を通じた河川の安全利用講習



主な活動場所



活動範囲



水江の渡し跡公園 指定番号第26号 河川協力団体活動状況(高梁川水系 岡山河川事務所)

「水江の渡し跡公園」は、昭和2年から90年続いた高梁川を往来する渡し船「水江の渡し」の歴史を次世代に継承していく為に活動している団体です。

主な活動として、水江の渡し跡周辺において、地域住民(倉敷市民)の発展と憩いの場を提供する目的で、水江の渡し跡の碑、渡船場跡、桜・巨木周辺の清掃・除草、及び自然環境の保護などの活動をしています。

活動場所・主な活動内容



河川敷の清掃・除草状況

江の川流域里川エコネット 指定番号第28号 河川協力団体活動状況(江の川水系 三次河川国道事務所)

江の川流域里川エコネットは、「里川江の川」の復活を目指し、馬洗川「八次地区水辺の楽校」周辺を中心に川に親しめる環境づくりや水辺の楽校と一体化した活用を推進するとともに、次世代の里川を担う人材育成を目的に川をいかした活動をしている団体です。

主な活動としては、水辺の楽校周辺の草刈り、ワンド・分水路の環境保全のほか、川の植物・生物・野鳥の観察会等の河川環境学習の活動、川漁体験・川遊び・イカダ下りなど川と触れ合えるイベントを開催しています。

活動場所・主な活動内容



河川敷の除草、清掃



イカダ下り



水生生物・植物の観察会



川遊び、川漁の体験



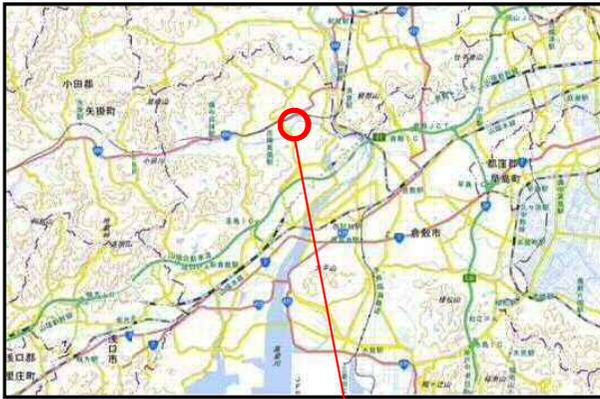
ワンド、分水路の環境整備

箭田地区まちづくり推進協議会 指定番号29号 河川協力団体活動報告(高梁川水系 岡山河川事務所)

箭田地区まちづくり推進協議会は、平成12年に発足し、地域コミュニティの推進を図ることを目的に5つの班から構成される協議会です。各班は、環境美化・エコ、福祉、青少年育成、防犯・防災、健康づくりに分類され、様々な視点から地域の課題に取り組んでいます。

平成30年7月豪雨災害によって、多くの方が被災し仮設住宅での生活を送っている中、地域コミュニティを取り戻すための活動を推進しています。

主な活動場所



主な活動範囲



主な活動内容



草踏みウォーク（樹木の再繁茂対策）



マイタイムラインの普及



堤防の草刈り活動

せせらぎ会 指定番号30号

河川協力団体活動報告(太田川水系 太田川河川事務所)

せせらぎ会は、太田川水系古川にあるせせらぎ公園の有効利用や美化推進を図り、地域環境の保全と健全な憩いの場の育成に寄与することを目的として設立された市民団体です。
 主な活動として、古川河川敷の清掃活動のほか、せせらぎ公園を中心とした地域交流イベント「せせらぎの夕べ」を毎年開催し、河川愛護の意識向上を図り、河川美化に繋げています。

主な活動場所



主な活動内容



古川河川敷の清掃活動



地域交流イベントの開催



安全利用点検への参加

山陽工業株式会社 指定番号31号

河川協力団体活動状況(太田川水系 太田川河川事務所)

山陽工業株式会社は、土木建築工事の請負、設計・監督並びに建設コンサルタント業を営む会社です。平成20年から太田川水系の一斉清掃活動「クリーン太田川」に参加しているのを始め、令和元年からは会社に程近い旧太田川(本川)において、従業員がボランティアで定期的に清掃活動を行い、河川環境の向上を図っています。

主な活動場所



主な活動内容



主な活動範囲



堤防上に整備された河岸緑地の歩道、基町環境護岸の階段や遊歩道など、清掃・除草活動を定期的に行っている。清掃活動は通勤・通学の時間帯に及ぶため、歩行者・自転車との接触を避ける目的で「河川清掃中」のベストを全員が着用し、タバコの吸い殻や紙くず、落ち葉を回収するため、火ばさみや竹ぼうき、竹熊手を使用している

ひろしまSUPクラブ 指定番号32号

河川協力団体活動状況(太田川水系 太田川河川事務所)

広島SUPクラブは、水の都ひろしまの太田川を活用し、SUP(スタンドアップパドルボード)の普及発展に努めることを目的に、平成29年に設立された団体です。主な活動としては楠木大雁木や周辺河岸を清掃するほか、8月のとうろう流し時の回収作業補助など河川美化活動に加え、水上安全講習会の開催や川辺の賑わいづくりに寄与するイベントも開催しています。

主な活動場所



主な活動内容



横川商店街 ガワフェス



主な活動範囲



雁木清掃



佐波川SDGs 指定番号33号

河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

佐波川SDGsは、「誰一人取り残さない」という理念のもと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指し、団体の活動拠点である佐波川において、河川環境保全活動を行っている。

主な活動としては、佐波川下流部の河川敷の清掃活動のほか、地域交流と清掃活動が一体となったイベント「佐波川流域大平山ふれあいの森づくり」に参加し、防府市と協力し、河川愛護の意識向上を図り、河川流域の美化を行っている。

主な活動場所



主な活動内容

佐波川流域大平山ふれあいの森づくりへの参加



ミズベリング参加の様子



佐波川一斉清掃への参加

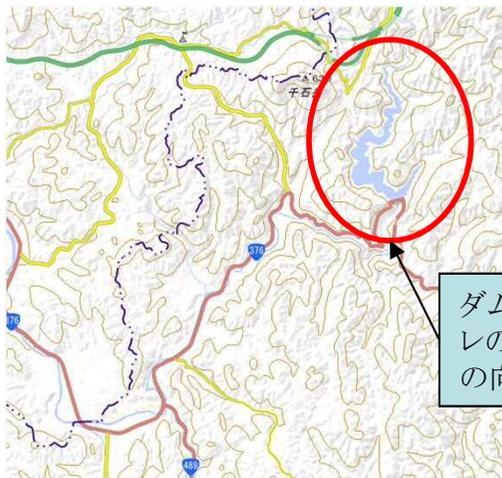


和田の里づくり推進協議会 指定番号34号 河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

和田の里づくり推進協議会は、住民相互の民主的な協議に基づき、心豊かな住みよい地域社会を築くことを目的に活動している団体である。

主な活動としては、島地川ダム湖周辺公園の維持管理活動のほか、山口河川国道事務所の島地川ダム見学会の補助や、「島地川ダムカレー」やダム貯蔵による島地川ダムの広報PR活動を実施している。

主な活動場所



ダム湖周辺の公園やトイレの清掃をし、ダム環境の向上・美化活動

主な活動内容

ダムカレー広報

周南市の野菜ソムリエ監修! “食べられるダム”
「島地川ダムカレー」販売開始!
～ 水源の郷をカレーで結ぶ ～

●令和2年1月22日(カレーの日)販売開始
●道の駅ソレーネ周南 地産地消レストラン ベーカリーキッチン「葉」
営業時間:11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

ダムカレーとは…
ダムをモチーフにしたカレーです。ごんは雄雌、カールーは野中流を表現しています。2009年頃から全道中に様々な店が販売。

梨カレー
島野高原と備前地区で採れた梨果汁で甘(仕上げにブルーベリー(高瀬湖))に添え、水質浄化の様子を生クリームで表現しています。
●産地:島野高原、備前地区
●監修:野菜ソムリエ

地元の野菜
島地川ダム周辺地域に採れた新鮮な野菜を表現しています。当野菜は季節によって変わります。

高瀬さしみこんにやく
水源地域である和地区の特産品です。おなが醤油や酢味噌がおすすめです。
●ごんは(和地区) 全農(和地区産物加工)

野菜ソムリエのオススメ
秋、冬に入っている「葉」は産地地区で原木を漬かして栽培している上質の葉子。オスチンが食べられます。

ダムを使った貯蔵広報

～ 和田の里タイムカプセル2020 実施方法 ～

◎保存方法: 2020年12月下旬より島地川ダムの地下室にて、10年間保存してもらいます。
和田地区ならではのタイムカプセルの保存方法「ダム貯蔵」、これも史上初!?

和田の里タイムカプセル2020 の開封は… 「2030年10月20日(日)和田総合まつり」で!

「和田の里タイムカプセル2020」にお申し込みの方は、2030年和田総合まつりにワクワクしながらお越しください。10年前の皆さんの思いが伝えます。お楽しみに! 多くのご参加をお待ちしています。

島地川ダム貯蔵試験実施

1月6日から、和田の里づくり推進協議会、高瀬をよくする会で、里芋、こんにやく、ジャガイモのダム貯蔵を行っています。島地川ダム事務所の協力で実現。

島地川ダム堰堤下部の貯蔵品

ダム湖周辺の清掃 (写真は黒川公園)



イベントの様子(ダム見学会の呼び込みなどの補助)



株式会社 井原組 指定番号35号

河川協力団体活動状況(佐波川水系 山口河川国道事務所)

株式会社 井原組は、山口市を拠点として土木工事等を行う法人であるが、佐波川の恩恵や水環境整備・保全の大切さを学ぶことを目的とした活動も実施している。

主な活動としては、佐波川上流部での河川敷の清掃活動や、河川愛護イベント開催など、地域と一体となって河川愛護の意識向上を図るとともに、河川流域の美化活動を行っている。

主な活動場所



河川敷の清掃活動



とくち行って美夜(ミナイト) (堤防等へのイルミネーション設置)



川あそび等の河川愛護イベントの開催

